

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	平川市教育委員会表彰事業	事業No.	1
担当課	学校教育課	担当課長	原田 耕一
		担当者	田澤 亜紀
予算科目	一般 会計 10款 1項 2目 事務局費		
	内線等	2263	

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業開始年度 25年度
	主要施策	1	生涯学習の推進	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	平川市教育委員会表彰規則			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	平川市のスポーツ、文化、社会教育の振興に貢献した方を表彰する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市教育委員会表彰規則の運用要綱項目を満たす各団体から推薦のある方
事業の目的	平川市のスポーツ、文化、社会教育の振興に貢献した方を表彰する。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	○各団体からの推薦について教育委員会にて審査・決定。 ○市の表彰と合同開催(年1回)。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	貢献した方を表彰することにより、市全体のスポーツ、文化、社会教育の振興を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
427	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	0	0	0	427

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

平成25年度は功労賞1名、金メダル授与(全国で8位以内)22名、銀メダル授与(東北で3位以内)56名、銅メダル授与(県で優勝)180名に授与。

5. 評価

A	各方面の活躍により受賞対象者は増加している。市全体のスポーツ、文化、社会教育の振興・発展につながっている。
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	幼稚園就園奨励事業	事業No.	2
担当課	学校教育課	担当課長	原田 耕一
		担当者	芳賀 照貴
内線等	2263		
予算科目	一般 会計 10款 1項 2目 事務局費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25年度
	主要施策	1	教育環境の整備	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	平川市幼稚園就園奨励費補助金給付要綱			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	幼稚園児を有する保護者に対し、その世帯の課税状況等に応じ、幼稚園に納付する入園料及び保育料の一部を助成する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	幼稚園児を有する保護者で一定の要件を満たす者
事業の目的	幼稚園児を有する保護者の経済的な負担軽減と、幼稚園教育の振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○各幼稚園において事業を周知し、保護者より補助金の交付申請を受付ける。 ○申請があった世帯の市民税課税状況等を調査し、認定基準を満たす保護者に援助を決定する。 ○補助金の申請及び保護者に対する給付は、各幼稚園において行う。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	保護者の経済的負担の軽減により、幼稚園就園機会の確保に資する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	4,694	国県補助金	(参加者)負担金	その他
	1,144	0	0	3,550

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>認定要件を満たす幼稚園児の保護者に対し、入園料及び保育料について、所得状況に応じた金額を助成した。 ○対象者:41名 支給総額:4,694,100円</p>

5. 評価

B	幼稚園教育の振興に資する事業であるが、近年は幼稚園就園児が減少の一途をたどっており、保護者に対する一層の周知徹底が必要である。
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	幼稚園第3子以降幼稚園保育料無料化事業	事業No.	3
-------	---------------------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	原田 耕一	担当者	芳賀 照貴	内線等	2263
予算科目	一般 会計 10款 1項 2目 事務局費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25年度
	主要施策	1	教育環境の整備	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	平川市幼稚園就園奨励費補助金給付要綱			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	満18歳未満の子供を3名以上有し、かつ、第3子以降が幼稚園に在籍する保護者に対し、幼稚園に納付する入園料及び保育料の全額を助成する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	満18歳未満の子供を3名以上有し、かつ、第3子以降が幼稚園に在籍する保護者
事業の目的	幼稚園児を有する保護者の経済的な負担軽減と、幼稚園教育の振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○各幼稚園において事業を周知し、該当する保護者より補助金の交付申請を受付ける。 ○申請があった世帯を調査し、該当する保護者に援助を決定する。 ○補助金の申請及び保護者に対する給付は、各幼稚園において行う。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	保護者の経済的負担の軽減により、幼稚園就園機会の確保に資する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
342	0	0	0	342

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>認定要件を満たす幼稚園児の保護者に対し、入園料及び保育料について、その全額を助成した。 なお、「幼稚園就園奨励費」の補助対象となる保護者については、その適用後の超過負担分について助成するものである。 ○対象者:2名 支給総額:342,000円</p>
--

5. 評価

B	幼稚園教育の振興に資することにより、ひいては平川市の子育て支援に繋がる事業であるが、近年は幼稚園就園児が減少の一途をたどっており、保護者に対する一層の周知徹底が必要である。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	教育振興会補助	事業No.	4
-------	---------	-------	---

担当課	学校教育課	担当課長	原田 耕一	担当者	谷川 智也	内線等	2262
予算科目	一般 会計	10款	1項	2目	事務局費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25年度
	主要施策	1	教育環境の整備	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	平川市学校教育振興会補助金交付要綱			
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	小体連、学校音楽発表会、文集ひらかわの運営に係る事業費、小・中学校の部活動等の大会出場に係る費用に対する補助金の交付。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市学校教育振興会(市内小・中学校全校で組織)
事業の目的	市内小・中学校が主体となって実施する事業に係る費用や、小・中学校の部活動として大会等に出場する際の費用に対して補助金を交付し、学校教育の振興を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	平成25年度より、児童生徒作品展、学校保健会の事業も加え、小体連、学校音楽発表会、文集ひらかわ等の運営を継続することができ、また、部活動等の大会出場にかかる経費の一部を補助することで、活動を支援する。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各分野での事務局を運営する教職員の意欲的な取り組みにより、児童・生徒にとって有意義な事業を実施できたと同時に、教職員の実践的指導力が高められ、平川市の学校教育の振興に対して効果がある。また、部活動等の各種大会における成績が一段と向上し、児童・生徒及び指導教員の意欲が高まる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
11,181	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	0	0	0	11,181

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

小体連、学校音楽発表会、文集ひらかわ、児童生徒作品展、学校保健会の事業費として1,238千円、部活動の大会等派遣費として9,943千円(のべ47大会)を支出した。

5. 評価

A	小体連競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、児童生徒作品展、学校保健会については、学校教育の振興が図られた。部活動の大会派遣費については、各校の好成績が顕著であることから3件増し、補助金は随時協議等を交えながら要綱に従って適正に処理した。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	国際交流(中学生ホームステイ受入・派遣)事業	事業No.	6
-------	------------------------	-------	---

担当課	指導課	担当課長	羽賀 義易	担当者	田辺 真一	内線等	2291
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	2	集いと元気あるまちづくり	
	個別目標	2-3	わかり合える交流の推進	事業開始年度25年度
	主要施策	2-3-1	交流機会の充実	事業終了年度25年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	<p>・受入～4月にアメリカメイン州カムデン・ロックポートの生徒10名と引率者2名をホームステイさせながら、市内小・中学校の学校訪問を通して交流している。</p> <p>・派遣～1月に市内在住中学生10名と引率者2名をアメリカメイン州カムデン・ロックポートへ派遣し、ホームステイしながらアメリカの学校生活を体験して国際感覚を養っている。</p>			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市に在住する中学生
事業の目的	<p>市内在住の中学生が海外からの中学生を受け入れる体験や、訪米によりホームステイ体験をすることにより、国際的視野をもち、協調の精神を身につけると共に、将来的に地域のまちづくりに貢献し、幅広く活躍できる有為な人材を育成する。</p> <p>また、本事業により中学生をとりまく地域住民が海外の文化に興味関心をもち、市民一体となった国際社会への意識付けを図ることを目的とする。</p>
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	<p>・受入～アメリカメイン州の生徒10名と引率者2名を市内中学生宅にホームステイさせることで、家族との交流を深め、生活習慣の違いを学び、学校体験により、多くの中学生が外国の中学生と交流することで文化の違いを発見し、相互理解を深めている。</p> <p>・派遣～市内在住の中学生10名と引率者2名をアメリカメイン州に派遣し、ホームステイしながら学校体験や異文化に肌で触れることで国際的な視野を養う機会としている。</p>
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	<p>受入や派遣に際して数回の事前研修を行うことで、受入生や派遣生の学校の垣根を越えた団結心や友情・協調の精神を養う。</p> <p>また、ウェルカムパーティーやさよならパーティーを実施することで家族同士の繋がりができ、尾上・平賀・碓ヶ関地区の一体感を醸成したい。</p>

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
4,812	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
		1,192		3,620

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>①受入生・派遣生の学校の垣根を越えた団結心や友情が育っている。</p> <p>②保護者同士の交流も深まり、尾上・平賀・碓ヶ関地区の一体感も生まれている。</p> <p>③受入事業の学校訪問プログラムにより、市内小中学校の英語や外国に対する興味・関心が高まっている。</p> <p>④受入生・派遣生の学校生活でも、積極性が増すなど、好影響が出ている。</p>

5. 評価

A	<p>歓迎パーティーやさよならパーティーの参加人数の増加や派遣申込み人数の増加などから、確実に目的が達成されていることを実感している。</p>
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	学力向上対策(学習支援員配置)事業	事業No.	7
担当課	指導課	担当課長	0
担当者	荒田 孝将	内線等	2293
予算科目	10款 教育費 1項 教育総務費 3目 指導費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始時5年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実	事業終了時5年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	市内全小・中学校に1名の学習支援員を配置し、個に応じた指導の充実を図りながら、個別支援や授業の質を高め、基礎基本の徹底による学力の向上を目指すことを目的とした派遣事業である。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小中学校児童生徒
事業の目的	市内全小・中学校に1名の学習支援員を配置し、個々に応じた指導の充実を図りながら、個別支援を大切にして授業の質を高めるとともに、基礎基本の徹底により学習意欲を高め、学力向上を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	平成19年度から平川市内の全ての小・中学校に1名の学習支援員を配置し、授業におけるチームティーティングや長期休業中の学習支援を実施。支援員の活用方法に工夫を加えながら、個別指導を生かした授業の充実により、学力向上へ意識化を図ってきた。25年度は14名の支援員を配置した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各校に1名の学習支援員が導入された事により、担任だけだと目の届かない児童生徒にも支援することができ、学習意欲が増し落ちついて授業を受ける児童生徒が多くなった。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財 源 内 訳			
13,030	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				13,030

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>低位の児童生徒への声かけ(見守り)やつまずきを見せている児童生徒一人一人のつまずきの程度や頻度に応じて、指導の充実を図りながら授業の質を高めるとともに、基礎基本の徹底により学習意欲を高め、学力向上が図られた。</p>

5. 評価

B	児童生徒一人一人のつまずきの程度や頻度に応じた指導ができ、落ちついて授業を受ける児童生徒が多くなってきて学力の定着が図られてきているが、より効果を上げるため、1学年で2クラス以上ある小学校や学習支援が必要な児童が多い小学校へ2名の支援員を配置していきたい。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	平川市教職員研修	事業No.	9
-------	----------	-------	---

担当課	指導課	担当課長	羽賀 義易	担当者	小山内 敏治	内線等	2292
予算科目	一般 会計		10款	1項	3目	指導費	

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	ころ豊かな、未来へ向かう人づくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25 年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実	事業終了年度 25 年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	①平川市小・中学校教職員全員研修講座～平成25年7月25日(木)実施【参加人数198名】 ②平川市夏季研修講座～平成25年8月1日(木)実施【参加人数19名】 ③平川市学級経営講座～平成25年8月7日(水)実施【参加人数18名】			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内小中学校教職員
事業の目的	<p>教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、児童生徒のよりよい理解をすすめ、一人一人のよさを認めながら、授業の充実を核にした、生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、教育活動の充実及び教員としての資質向上を図ることにより平川市の学校教育の活性化を目指すことを目的とする。</p>
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	<p>①全員研修講座の講師として、元小学校長で弘前大学教育学部客員教授齋藤 厚氏を迎え講演してもらった。 ②夏季研修講座では、退職校長による学校経営、指導課主任指導主事による学校改善のポイント、現役校長による教育法規を学習してもらった。 ③学級経営講座では、指導課指導主事や現任教頭、現任教諭による学級経営について学習してもらった。</p>
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	<p>全員研修講座については悉皆研修であるが、他の講座は希望講座であるにもかかわらず、受講者が増加していることから市内教職員の資質向上に寄与していると実感している。</p>

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
20	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				20

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>①受講者の感想の中に、「早く夏休みが終わって、子どもの顔が見たくなった。」とか「二学期に向けて子ども達のために頑張ろうという気持ちになった。」等の声がたくさん聞かれた。 ②講義内容から、ミドルリーダーとしての自覚も高まり、教頭試験等の参考にも寄与できた。 ③受講者の学級経営に対する明確な視点が与えられたことにより、学級担任としての資質向上に寄与できた。</p>
--

5. 評価

B	<p>どの講座も、大変好評で市内教職員の資質向上に大きく寄与できたと考えている。特に指導課職員の講義内容が充実していて、次年度もぜひ受講したいという声がたくさん聞かれた。 しかし、児童生徒の指導に直結する学級経営講座は、指導力の向上が必要な教員が受講しない傾向もみられるため、計画的に全員が受講するシステムの必要性も感じている。</p>
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	教育相談・適応指導教室	事業No.	10
-------	-------------	-------	----

担当課	指導課	担当課長	羽賀 義易	担当者	成田義榮・赤平延孝	内線等	2293
予算科目	一般 会計	10款	1項	3目	指導費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	ころ豊かな、未来へ向かう人づくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25 年度
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実	事業終了年度 25 年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 ()
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	教育相談員2名を配置し、市内小・中学生やその保護者を対象に、主として生徒指導的教育相談及び就学指導的教育相談に当たっている。 また、不登校生を対象に、適応指導教室を開設し、学習支援や生活支援を行っている。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内児童・生徒とその保護者
事業の目的	①市内児童・生徒及び保護者を対象とした教育相談。 ②いじめ、非行、不登校等に対応するための市内小中学校の巡回指導・相談。 ③不登校等の児童生徒の学習支援や生活支援のため、適応指導教室を開設しての支援。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	①来所や電話による教育相談を随時行っている。 ②夏休み・冬休み明けの生徒指導訪問や夏休み中の就学指導訪問により、実態把握に努めている。 ③中学校7名、小学校1名が通級し、学習支援を受けた。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	市内の児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、本人や保護者のメンタルヘルスに配慮しながら、学校との橋渡しの立場で相談に対応している。 また、適応指導教室に通う児童生徒に対しては、あくまでも学校へ通えるようにさせることを目標として、その間の学習の遅れを取り戻せるように支援している。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳				
	1,880	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
					1,880

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

①電話相談では、主として学校の指導に対する不満や不信感を訴えてくることが多いが、じっくりと話を受け止めながら、直接学校と話し合うことが最良の解決策であることを諭し、学校との橋渡しをしてやることで、解決できるケースが多かった。【相談件数32件】
②学校との情報交換が密になることで、児童生徒の様子が的確に把握でき、有効な指導助言ができた。【生徒指導訪問5回、就学指導訪問13回】
③中学3年の生徒3名中2名が高校進学を果たした。また、中学1年と2年の生徒2名が学校復帰できた。

5. 評価

A	市内小・中学校で30日以上欠席がある不登校傾向を示す児童2名、生徒20名いたが、適応指導教室へ通級していた8名の児童生徒のうち、教育相談員等の適切な対応で、5名が高校進学や学校復帰した。
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	学校支援ボランティア	事業No.	11
担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功
担当者	齋藤和美	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 1目 社会教育総務費		

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-3	青少年教育の推進
事業開始年度	25年度		
事業終了年度	25年度		
根拠法令・要綱等			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先(委託内容)	[]		
事業の概要	各学校に1名の学校支援コーディネーターを配置し、コーディネーターは、学校等の要望に応じ、学校とボランティアの間を調整したり、参加の意呼びかけ、活動の企画等を行う。学校支援ボランティア活動は、学習支援・環境整備・学校行事・部活動の指導・安全指導などの実施、地域の人材と意欲、学校のニーズに応じた多様な支援活動を行う。		

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	地域住民(PTAを含む)
事業の目的	地域の子どもたちを健やかに育み、教育環境を充実させるために学校・家庭・地域の連携協力が不可欠である。地域の方々の経験や専門的知識を活かし「できる時に・できる人が・できることを」をモットーに地域ぐるみで子どもたちを育成すると同時に住民の生きがいづくりや地域の教育力の活性化等を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	1. 学校支援コーディネーターの配置 2. ボランティアの活動内容 ①環境整備(花壇の土起こし・花の苗植え、草取り、樹木の剪定、ペンキ塗り)②学習支援(りんご作り・米づくり体験学習、ミシン学習の補助など)③部活動支援④登下校の交通安全見守り隊⑤読み聞かせや図書活動支援⑥学校行事への支援(運動会、餅つき会、昔遊び、学習発表会、スキー大会など) 3. 市内全学校のボランティア活動事例をパネル展示して、市民に活動の周知及び参加の呼びかけをした。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	学習環境の充実、教育活動の充実、子どもの学びの進化、教員の負担軽減、ボランティアの生きがいづくり、地域の教育力向上などが図られる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
1069	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	700			369

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<ol style="list-style-type: none"> 地域住民(ボランティア)が学校支援を行うことによって、学校に対する理解が得やすくなった。 専門的な体験学習を行うことにより、学習に深みが見えた。 ボランティアをしたことにより、顔見知りとなり、子どもたちからあいさつされるようになった。

5. 評価

B	実施校7校については、活発なボランティア活動が展開されている。この事業が市内全ての小中学校で行われるよう更なる周知に努めたい。
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	各種講座 I (平成の寺子屋)	事業No.	12
-------	-----------------	-------	----

担当課	平賀公民館	担当課長	谷川 功	担当者	小山内 宏子	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 2目 公民館費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	25年度
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業終了年度	25年度
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進		
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	進展する現代社会に対応できる教養を身につけきらめくひとづくりをめざして、講座や移動学習等を開催する。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市内に居住または勤務する成人の方
事業の目的	生涯にわたって自らが輝きつづけるために講演や文化芸術活動への参加を通し、現代社会に対応できる教養を身につけ、学習によって得た知識等を積極的、かつ自主的に地域活動に活かす、きらめくひとづくりを目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	広報等で周知募集を行い、1回の参加者は20名前後である。講座の他、移動学習を1回行った。内容としては、健康に関すること、歴史に関すること、日常生活の参考になるものなど身近なテーマを設定した。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	生涯にわたって充実した生活を送るため、身近なテーマをより深く、また普段気づかない視点から考えるなど、新たな魅力を発見することでさらに興味を持つことができる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
92				92

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>平成の寺子屋に参加した方にアンケートをとった結果、たくさんの魅力にあふれた企画内容で、日頃の意識に変化を与えてくれていい刺激となり大変満足している。また参加したいという回答が多数あった。中でも好評だったのが、美術館・博物館めぐりのバスツアーで、なかなか行くことがなかったのでよかった。野菜の魅力では、野菜の種をいただいて実際に育てて美味しくできた。スローピングで健康づくりでは、簡単にお金をかけずに家の中でできることに大変反応が大きかった。</p>

5. 評価

B	参加者における各講座の満足度は高く、教養を身につけ、きらめくひとづくりにつながった。農繁期には出席者が少なくなることから開催時期等を今後の計画に生かしながら、新たな顔ぶれの方にも気軽に参加していただけるような企画運営等の工夫に努めたい。
----------	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	各種講座Ⅱ(家庭教育講座)	事業No.	13
-------	---------------	-------	----

担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功	担当者	齋藤和美	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 1項 1目 社会教育総務費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな未来へ向かうひとづくり	事業開始年度	25年度
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進	事業終了年度	25年度
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進		
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	学校と家庭と地域が連携・協力しながら子育てを行い、支えていくために、親の学びや育ちを応援する学習の機会を多様な場を活用して提供する。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	児童、生徒、保護者、地域住民
事業の目的	子育て中の親、学校関係者、地域の人たちが共に現代の親子関係や子どもを理解することで、親子と地域とのつながりのもてる家庭教育を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	小学校4校、中学校1校で児童・生徒・保護者・地域住民を対象に、家庭教育に関する講演会やワークショップを開催した。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	学校の参観日など保護者の集まる機会を捉えて開催することで、より多くの人に参加できる。各学校が抱えている問題、課題について個別に対応できる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
80	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				80

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>子どもの発達課題や生活習慣病、インターネットの危険性、思春期の子どもの理解など、学校や保護者の要望に応えるテーマで実施することができた。</p>

5. 評価

B	学校と連携したことで、学校や保護者の要望に応えた内容の講座を実施できた。実施校が5校なので、事業の更なる周知に努めたい。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	各種スポーツ教室	事業No.	14
-------	----------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	大湯幸男	担当者	秋元将郎	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 1目 保健体育総務費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	25年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度	25年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	市民を対象に各種スポーツ教室 ・軽スポーツ巡回教室 ・楽天イーグル野球塾 ・ソフトボール教室などを行っている				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市民を対象
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及び各種団体から依頼がある軽スポーツ等教室の巡回教室を開催する。 ・市民を対象に各種教室を開催し、スポーツをする喜びと健康増進を図りながら生涯スポーツの振興とニュースポーツの情報提供をする。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、市民のニーズに応じた教室の開催をしている。 ・体育協会及び各種競技団体とスポーツ推進委員の協力を得ながら教室を開催している。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	誰もがどこでも誰とでも手軽にできるスポーツの普及とスポーツを行うことで健康増進を図る。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳				
	372	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
					372

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>スポーツ推進委員が学校等に出向いて指導を行い、スポーツの普及に努めている。(軽スポーツ巡回教室) また、野球・ソフトボール教室を開催し、競技力向上を図りながら底辺拡大と指導者育成を行っている。その結果、様々な大会で好成績を残すことができるようになった。 (軽スポーツ巡回教室 12回 参加者数 765人、楽天イーグルス野球教室 1回 参加者234人、ソフトボール教室 3回 参加者139人、合計16教室 参加者1,138人)</p>

5. 評価

B	<p>各種スポーツ教室を実施することは、市民が健康であればあらゆる面において効果がでる。また、今後益々高齢化社会が進む中で、市民の健康づくりを図るためには必要不可欠であり、今後はもっと積極的に各種教室を開催し、スポーツの振興と軽スポーツの普及を図っていきたい。</p>
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	たけのこマラソン大会補助金	事業No.	15
-------	---------------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	大湯幸男	担当者	中嶋一郎	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 1目 保健体育総務費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	25年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度	25年度
根拠法令・要綱等	平川市たけのこマラソン大会実行委員会会則				
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	平川市たけのこマラソン大会実施に向け下記事項について取り組む 1. 大会の運営に必要な総合企画に関する事 2. 大会運営に必要な施設等の整備計画に関する事 3. 関係機関・団体との連絡調整に関する事				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	子どもから大人まで幅広い年齢層の県内外のマラソン愛好者(補助対象者:平川市たけのこマラソン大会実行委員会)
事業の目的	参加者全員がマラソン大会を通じて、スポーツに対する意識の高揚と、淀ヶ関地域の大自然に触れ、親睦と交流を図ることを目的とする。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	平成25年度からハーフコースを設定したところ参加者が1,000人を超え、盛大に開催されているが、協力スタッフの人数も限られており、着順の整理や記録の集計に時間を要し公式記録の発表が遅くなり、表彰式に入賞者がいない状況にある。この状況をクリアするためには、自動記録システム(ICチップ)の導入が不可欠と考えられる。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	県外からの参加者が数多く、市内に宿泊したり、お土産を買ったりと経済的効果が期待され、平川市を全国にPRできるとともに、参加者の健康づくりが図られる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳				
	4,152	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
		2,170	777	1,205	

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>昨年度を上回る参加者数1,090名(H24年度 901名)となり、大きな成果があった。 市職員65名が、前日の準備・大会当日にスタッフとして協力し、事業に対する理解が図られた。 年々参加者が増加傾向にあり、平川市が全国にアピールできるマラソン大会へと成長している。</p>

5. 評価

B	県内外から、1,000人以上の参加者があり定着した大会となっていることは評価できる。しかし、前日の準備から大会当日に市職員が延べ150人位が協力しており、実行委員会組織が積極的に参加することが、さらなる充実を図るため必要である。今後は検討課題である「自動計測システム」の新方式を早期に採用できるよう検討する。
----------	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	県民体育大会補助金	事業No.	16
-------	-----------	-------	----

担当課	保健体育課	担当課長	大湯幸男	担当者	中嶋一郎	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 1目 保健体育総務費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	25年度
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	事業終了年度	25年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	[]				
事業の概要	県民体育大会実施に向け下記事項について取り組む 1. 各競技団体の育成・強化に関すること 2. スポーツの振興と育成のための運営に関すること 3. 関係機関との連絡調整に関すること ※H25年度大会は中南地域で開催され、開催事業の負担金(大会経費不足分)として、地域構成市町村である本市は 563,000円を別途負担した。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	出場選手、役員による強化練習期間の激励巡回、大会当日の各競技応援等(補助対象者:NPO法人 平川市体育協会)
事業の目的	市町村対抗青森県民体育大会に参加するため、各競技団体を取りまとめる体育協会を支援することにより、競技スポーツの普及発展のための組織の充実、スポーツを通じての心身の発育と競技スポーツ育成、県・東北・全国大会等に出場する団体・個人を育成する等スポーツの推進を目指す。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	体育協会は公共的団体であり、スポーツ推進に関する業務を実施しているため、市の支援は必要である。本来、スポーツ推進は法律に基づき行政が行うこととされているが、競技団体(21団体)の指導等について取りまとめが困難なため、体育協会を軸にしながらスポーツの振興を図るため、市の関与が必要である。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	体育協会が中心となって各競技団体を取りまとめているので、指導者の育成につながるだけでなく優れた多くの選手を把握している中での強化を図ることができ、競技スポーツの推進につながるとともに、各種競技大会等において安定的な競技成績を収めることができる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	地方債	その他	一般財源
1,568			62	1,506

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>◆平成25年8月4、17、18開催「第68回 市町村対抗青森県民体育大会」成績(得点)・・・市の部 総合4位(40点)</p> <p>各種目順位(上位4位まで)</p> <p>1位:軟式野球</p> <p>2位:ゲートボール、ウエイトリフティング</p> <p>3位:銃剣道</p> <p>4位:バレーボール、水泳、ボウリング</p>
--

5. 評価

B	<p>県内で一番小さな市として、毎年のように上位入賞を果たしていることについては評価できる。各競技団体の選手構成をみると10年前と変わっておらず、若い選手が殆ど加入していない状況にある。各競技団体においては、常に情報収集を図り若い選手を発掘して各団体に加入させる努力が必要である。</p>
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	屋内運動場等の管理運営	事業No.	17
-------	-------------	-------	----

担当課	平賀総合運動施設	担当課長	大湯幸男	担当者	中嶋民保	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 2目 総合運動施設費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	25年度
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実	事業終了年度	25年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
委託先(委託内容)	平川市シルバー人材センター他(施設の保守点検管理等)				
事業の概要	屋内運動場、テニスコート、平川河川敷公園(松崎、大坊)を管理している。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市民ほか
事業の目的	屋内運動場、テニスコートについては、スポーツを行う場所として利用していただき、各競技技術の向上と健康増進を図る。河川公園については、市民等のレクリエーションの場として、スポーツに親しむ環境を提供する。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	だれもが生涯スポーツ並びにレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるように効率的な管理運営に努めている。なお、河川敷公園については、昨年の台風以降、施設の破損等により使用が困難なことから、関係者と協議して使用について制限をしている。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	各施設の利用者数は、毎年増加傾向にある。特に児童・生徒の利用が多く、利用している団体が、各種大会で優秀な成績を収めていることから、ある程度の成果に繋がっていると思う。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳				
	52,946	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
			4,591	48,355	

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>施設全体の利用者は増加傾向にあるが、それぞれの施設において修繕等の維持管理費がかさむ傾向にある。特に、屋内運動場グラウンドの年3回の整備費用と、テニスコート人工芝の維持管理に経費がかさんでおり、コスト削減できないか検討が必要である。河川公園については、利用者がゴミを放置して帰ることなどから苦慮している。</p> <p>平成25年度利用者数 94,582人 (屋内運動場57,415人、トレーニングルーム11,948人、テニスコート10,872人、河川公園14,347人)</p>

5. 評価

A	施設の修繕等による管理費がかさんでおり、運営面では多少改善が必要と思われるが、市内の施設利用団体(小・中学校)が、各種大会で優秀な成績を収め成果をだしていることから、施設運営としての評価はできる。市民の体力づくり及び、健康づくり更に各競技力向上の場として根付いている。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	おのえスポーツセンターの管理運営	事業No.	18
-------	------------------	-------	----

担当課	平賀総合運動施設	担当課長	大湯幸男	担当者	中嶋民保	内線等	43-0660
予算科目	一般会計 10款 5項 2目 総合運動施設費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり		
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進	事業開始年度	25年度
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実	事業終了年度	25年度
根拠法令・要綱等					
事業実施の手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（指定管理）				
委託先(委託内容)	NPO法人平川市体育協会				
事業の概要	おのえスポーツセンター、尾上体育館を指定管理委託。				

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市民ほか
事業の目的	一般市民にスポーツを行う場所として利用していただき、各競技技術の向上と健康増進を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	一般市民が、安全で安心して利用できるような環境づくりに努めている。特に野球場においては、夜間照明を整備したことにより、利用者の増加が見込まれる。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	年々利用者数が増加している。特に児童・生徒の利用が多く、各種大会で優秀な成績を収めている。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
				23,324

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<p>年々、施設全体の利用者は増加しているが、それぞれの施設において修繕等の維持管理費がかさむ傾向にある。管理施設は、B&G尾上体育館、尾上野球場、尾上テニスコート、尾上体育館であり、それぞれの施設の補修や屋外の植栽管理等も含まれており、コスト削減できないか検討が必要である。</p> <p>平成25年度利用者数 57,332人 (B&G尾上体育館20,954人、尾上野球場6,498人、尾上テニスコート3,630人、尾上体育館26,250人)</p>
--

5. 評価

B	<p>運営面では、職員数等により万全な管理体制とは言えず、多少改善が必要と思われるが、少ない人数で管理し、年々利用者が増加していることについては評価できる。本施設は、平川市体育協会が指定管理しており、月1回の定例会議を設けて連絡を図り、情報を共有して管理運営を行っている。</p>
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	学校給食センター運営事業	事業No.	19
-------	--------------	-------	----

担当課	学校給食センター	担当課長	大湯幸男	担当者	木村 聡	内線等	44-2835
予算科目	学校給食センター特別会計						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成	事業開始年度 25年度
	主要施策	1-1-1	学校給食の充実	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等				
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	安全で安心できる学校給食の提供 平賀学校給食センターにおいて 1,907食/日 尾上学校給食センターにおいて 883食/日			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	市立小中学校全校
事業の目的	ぬくもりのある安全でおいしい学校給食を提供するため、衛生・安全管理の徹底と地域の特性を生かした物資の調達、配送などが円滑に行えるよう施設設備の整備、管理運営体制の充実を図る。
事業の現状 (目的実現のための手段及び実施内容)	食材にできる限り地場産品を取り入れている。調理員に対する栄養士等の衛生管理指導。調理器具等の清掃・消毒の徹底を図る。
事業の成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地場産品の使用率拡大を図る。食中毒等の防止及びねずみ、害虫等の被害防止を徹底する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
340,695	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
			140,019	200,676

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品(市内産+県内産)の使用率は年々増加しているが、25年度は前年より少々低い。(使用量 21年度52.4% 22年度56.4% 23年度64.9% 24年度63.7% 25年度63.5%) ・衛生管理を徹底することにより、食中毒等の事故等は発生せず、安全な食材を使用した給食を定時に提供できた。
--

5. 評価

B	市内産農産物に限っては、季節によって供給に変動があり大幅な増加は望めないが、県内産を含めた地場産品の使用については、今後70%程度の利用を目指したい。 また、安全でおいしい学校給食の提供については、今後も継続していきたい。
---	--

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	小中学生芸術鑑賞	事業No.	20
-------	----------	-------	----

担当課	文化ホール	担当課長	谷川 功	担当者	大湯 朋子	内線等	44-1221
予算科目	一般会計 10款 4項 5目 文化センター費						

1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-4	こころ豊かな、芸術文化の振興	事業開始年度 25年度
	主要施策	1-4-1	芸術文化活動の振興	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業実施の手法	直営 委託 補助金 その他 ()			
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	演劇、ミュージカル等の優れた芸術作品鑑賞の場を小・中学生に提供する。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	平川市内の小・中学生
事業の目的	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に努め、文化の高い心豊かな小・中学生を育成する。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	中学校・小学校高学年・小学校低学年ともそれぞれ1日2回(午前・午後)公演を実施している。演目については、各学校の担当者と連携協議の上決定している。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	普段接する機会の少ない舞台芸術鑑賞により、芸術文化のすばらしさを知ってもらい心豊かな、小・中学生を育成することができる。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
3,776		2,259		1,517

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

小学生は低学年が劇団ポプラ「三年寝太郎」高学年が同じく「火垂るの墓」、中学生はソプラニスタ・コンサート「岡本知高」を鑑賞し、舞台芸術の楽しさ、素晴らしさに触れ、豊かな感性が育まれた。

5. 評価

A	芸術・文化のすばらしさを学校と一体となって、子どもたちに体験させることにより豊かな心を育てることができた。
---	---

事務事業評価表

平成25年度

事務事業名	文化財保護	事業No.	21
-------	-------	-------	----

担当課	生涯学習課	担当課長	谷川 功	担当者	滝本 学	内線等	44-1221
予算科目	一般 会計 10款 4項 3目 文化財保護費						

1. 事業概要

平川市長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興	事業開始年度 25年度
	主要施策	1-4-2	文化財保護と活用	事業終了年度 25年度
根拠法令・要綱等	文化財保護法、平川市文化財保護条例、平川市郷土資料館条例、平川市無形文化財等保存継承事業補助金交付要綱			
事業実施の手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他 (
委託先(委託内容)	[]			
事業の概要	補助金により文化財の保存・保護を支援し、国民共有の財産である文化財を後世に伝えるとともに、災害等による損失を避けるための火災訓練の実施や教育普及事業の実施により、市民の文化財愛護精神および郷土愛の育成を図る。			

2. 事業の目的

対象(何、誰を)	文化財所有者・市民
事業の目的	文化財を適正に保存・保護し、郷土の歴史や文化財を活用した教育普及事業を実施することにより、身近な歴史文化遺産への関心を高め、郷土に対する愛着と誇りを培う。
事業の現状 (目的実現のための手段 及び実施内容)	市補助金による無形文化財等保存継承団体への支援、教育普及事業、火災防ぎょ訓練を実施している。また、猿賀浅井(1)(2)遺跡・原遺跡で、遺跡の範囲・残存状況等把握するための試掘調査(市内遺跡発掘調査事業/国庫補助)を実施した。
事業の成果 (どのような成果を得よう としているか)	各種補助金による支援や災害等による損失を避けるための火災防ぎょ訓練を実施して文化財を後世に正しく伝え、各世代を対象にした学習機会を提供により、文化財や地域の歴史・文化の理解を促す。また、埋蔵文化財と各種開発の調整を行い、文化財保護と都市形成の両立を図るほか、市街化区域内農地での試掘調査を実施し、周知の遺跡の残存状況等の基礎情報を整備する。

3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
5,506	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
	2,400			3,106

4. 事務事業の成果(具体的に記載)

<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化財等保存継承団体(7団体)に対する市補助による支援や、各世代を対象とした教育普及事業、火災防ぎょ訓練を実施し、文化財の保護、歴史・文化財の理解、防火協力体制の確認と確立を図ることができた。 ・猿賀浅井(1)(2)遺跡・原遺跡内農地で試掘調査(市内遺跡発掘調査事業)を実施し、対象地の基礎情報を収集することができた。

5. 評価

B	無形文化財等保存継承事業、教育普及事業、火災防ぎょ訓練は一定の成果を挙げていると思われるため、今後も継続するが、収蔵資料を活用した展示会を積極的に展開を図る必要がある。埋蔵文化財は、法に基づき対応するが、市街化区域内農地での市内遺跡発掘調査事業(試掘調査)は、平成26年度も引き続き実施し基礎情報の整備に努める。
---	--